根拠法令及び条項 新座市重度の支給に関する条例(支給の方法) 第9条 医療費の支給に関する条例(支給の方法) 第9条 医療費の支給は、受給者又はそのものの保護者が現物給付を実施する治見に監難づき行かかわらず機関等ででき、立動領域に基づき行かかわらず機関等ででき、できるの規定による支払があったとがあったとがあった。 3 前項の規定による支払があったときは、当該医療を受けた受給者に代対してときながあったとがあったとがあったとがあったとがあった。 3 前項の規定による支払があったときは、当該医療を受けた受給者に代対して実際でき、支払があったとがあったとがの規定によるを受けた受給者に対し医療費の支給が、各個性に対しているとの場合に対しているとの場合に対しているとの場合に対しているを表していて、医療性の対象をは、生命を関するとは、当該医療を受けた受給者に対しているとは、当該医療を受けた受給者に対しているとは、当該医療を受けた受給者に対しているとの規定によるを要により第4条では、医療とのは、医療保険などの表別は、医療性の対象には、大変を表別を持ている。となが、対象をは、大変を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	許 認	可:	等 σ) 内	容	 医療費の支給
第9条 医療費の支給は、受給者又はたものをいう。)の請求に監護する者としてする。 2 前項の規定にかかわらず、市は、受給者を現けた場合には、当該医療機関等で医療を受けた場合には、当該医療機関等で支給する。なりた受給者に代わつとす。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受けた受給者に代わつてきる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受けた受給者に代対し医療費の支給があつたものとみなす。 「「「「「「「「「」」」」」 「「「「」」」 「「」」」 「「」 「「」 「「」」 「「」」 「「 「「 「「」 「「 「「 「						
の請求に基づき行うものとす。市は、受給者が現物給付を実施の規定にかかわらず、市は、受給者が現物給付を実施当る場所等で医療を受けた場合には、当該医療機関等に支払がの工業を受給者に代わつて当該医療機関等に支払がの支給があったときは、当該医療を受けた場合による支払があったときは、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があったときな、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があったときな、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があるとみなす。 新座市重度心身障がい者医療要支給に関する条例(医療について、医療保険各負担すべきの額、養理・自知の規定による籍用の額額、養理・自知の規定に対象者に対したの額を控いした解し、以下「一るも関力がと生活を関する。第2担金を関立の第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、第2を表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表						第9条 医療費の支給は、受給者又はその保護者(受給
を実施する埼玉県内の医療機関等で医療を受けた場合には、当該医療機関等の商請求に基づき、一払うことができる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受給者に代わつて当該医療機関等に支払うことができる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受給者に対し医療費の支給があつたものとみなす。 「「「「「「「「」」」」」が、「「」」」」が、「「」」」」で、「「」」」」が、「」」」」が、「」」」。 「「「」」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」。 「「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」」」が、「」が、「						
には、当該医療機関等の請求に基づき、一部負担金等を受給者に代わつて当該医療機関等に支払うことができる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があつたときない。とみなす。 所 管 部 課 係 名 総合福祉部障がい者福祉課給付係 審						2 前項の規定にかかわらず、市は、受給者が現物給付
を受給者に代わつて当該医療機関等に支払うことができる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があつたものとみなす。 所 管 部 課 係 名 総合福祉部障がい者福祉課給付係 審 総合福祉部障がい者福祉課給付係 審 が、 医療保険各に関する条例(医療費の支給) 第 4条 が、 医療保険各に関する条例(医療費の支給) 第 4条 が、 医療保険各れに準度の支給) 第 4条 が、 医療保険名に成立に足により負債を担金では、 会権を関係を対した。 の を は の を は な に な を を は に な を を は に な を を が は な に な を を な に な を を な に な を を な に な を を な に な を を な に な と な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な に な を な で な を な に な を な に な を な で な を な に な か か も ら ず 、 な の 責 か い な と も な に な ら ず な な な で を な に な る を 条 第 2 項 の 規定による 医療機関等の の ま を の や 例 第 9 条 第 2 項 の 規定による 医療機関等の の ま な い い 。 3 条 例 第 9 条 第 2 項 の 規定による 医療機関等の の 請求 は 、 重 度 心 身 障 が い 者 医療機関等の の ま な い い 。 3 条 例 第 9 条 第 2 項 の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま な い い 。 条 の の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま す な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 の の ま す な い い 。 る の 規 定 に よ る 医療機関等 が い 者 医療 費 3 項 の 規 定 に よ る 医療機関等 が い 者 医療 費 3 項 の 規 定 に よ る 医療機関等 が い 者 医療 費 3 項 の 規 定 に よ る 医療機関等 が よ 重 度 心 身 障 が い 者 医 療 機関等 が よ る 医 療 機関等 が よ ま を か 者 と の 規 定 に よ る 医 療 機関等 が よ る 医 療 機関 き が よ る 医 療 機関 き な は ま な な か よ の 規 定 に よ る 医 療 機関 き な な な か よ の ま な と し な な か よ の 規 定 に よ る 医 療 機関 き な は ま を か よ の は な な か よ の は な な か よ の は な な か よ の は な な か よ の は な な か よ の は な な な か よ の は な な な な か よ の は な な な な な か よ の は な な な な な な な な な な な な な な な な な な						
きる。 3 前項の規定による支払があつたときは、当該医療を受けた受給者に対し医療費の支給があつたものとみなす。 所 管 部 課 係 名 総合福祉部障がい者福祉課給付係 新座市重度心身障がい者區療費支給に関する条例 (医療費の支給) 第 4 条 市は、対象者に係る医療について、医療保険各法によるとのの支給、医療保険各法の規定により担するの類を担すがらはの額療養標準自一る心身を持つの額療養標準自力のの変とする。ただし、第 2 2 条第 3 号に規定する精神病床に入院したときの一部負項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分をとするがい者が医療法(昭和23年満年の大学の一部負項の規定にかかわらず、対象者の責めにより適分の象とするがい者を除くの額については支給の対象としない。						
第						
受けた受給者に対し医療費の支給があったものとみなす。 野						
所管部課係名 総合福祉部障がい者福祉課給付係 新座市重度心身障がい者福祉課給付係 新座市重度心身障がいる医療保険各法の規定により 第4条 市は、対象者に係る医療保険各法の規定規理を担当を 1 担立がは、2 を療保険者によう費額、大き費額、計算を 2 の 5 を表しての関係を 2 の 5 を表して、 2 を変して、 2 を変して、 3 を変して、 3 条例第9条第2項の規定による 2 を変いる 2 を変いる 2 を変いる 2 を変して、 4 を変して、 5 をの規定により 5 をの申請等) 第5条 条 発の事業を 2 の 5 を 6 を 6 を 6 を 7 を 7 を 8 を 8 を 8 を 9 条 第 1 項に規定する 6 請求は、 重度心身障がいる 8 を 8 を 8 を 9 条 第 1 項に規定する 6 請求は、 重度の規定による 6 を 8 を 8 を 8 を 9 を 9 を 9 を 9 を 9 を 9 を 9						
審 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例 (医療費の支給) 第4条 市は、対象者に係る医療について、医療保険各法による被保険者等が、医療保険各法による機関、						す。
(医療費の支給) 第4条 市は、対象者に係る医療について、医療保険各法による被保険者等が、医療保険各法の規定により負担すべき費用の額から法令又はそれに準じる規定による給付の額、付加給付の額並びに食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を控除した額(以下「一部負担金等」という。)について、対象者に支給するものとする。ただし、第2条第2項完したを療法(規定する手機定したきの一部負担金等を除く。 2 期項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己ない。 第座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条 個第9条第1項に規定する請療機関等の発行する領収書を添付して行うを療機関等は、市長と同項の規定によるを締結しなければならない。 2 条例第9条第2項の医療機関等の規定による医療機関等の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等のよい。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等のして行う	所 管	部	課	係	名	
第4条 市は、対象者に係る医療について、医療保険各法による被保険者等が、医療保険各法の規定により負担すべき費用の額から法令又はそれに準護機準負担額及び生活療養標準負担額を控除した額(以外を書き、一個の担金等」という。)について、対象者に支給重度がい者が医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。2 前項の規定にかかわらず、対象者の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度必身障がい者医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の規定による支払の条件に係る協定を締結して行うをいる。3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請率を応援して行う	審					
法による被保険者等が、医療保険各法の規定により負担すべき費用の額から法令又はそれに準じる規定担額及び生活療養標準負担額及び生活療養標準負担額を控除した額(以下「るものとする。ただし、第2条第3号に規定する重度第7条第2項の場定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己とない。 「要がい者が医療法(昭和23年法第205号)第7条第2項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己とない。 「要がい者を除く。との申請等)の自己とない。 「支給の申請等)の自己とない。 「支給の申請等)の方針に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 「支給の申請等)第5条条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療機関等は、市長と同項の規定による支援関等は、市長とければならない。 「会例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						(1 11/2 1 2 111)
る給付の額、付加給付の額並びに食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を控除した額(以下「一部負担金等」という。)について、対象者に支給するものとする。ただし、第2条第3号に規定する重度の身障がい者が医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。 2 前項の規があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則(支給の申請等)第5条条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
及び生活療養標準負担額を控除した額(以下「一部負担金等」という。)について、対象者に支給するものとする。ただし、第2条第3号に規定する重度心身障がい者が医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。 2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己負払があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則(支給の申請等)第5条条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						担すべき費用の額から法令又はそれに準じる規定によ
重生 を						
をする。ただし、第2条第3号に規定する重度心身障がい者が医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。 2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己負担があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
査 がい者が医療法(昭和23年法律第205号)第7条第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。 2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己負担があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等)第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
第2項第1号に規定する精神病床に入院したときの一部負担金等を除く。 2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己負担があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う	杏					
部負担金等を除く。 2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分の自己負担があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う	上					
関係条項の自己負担があるときは、その額については支給の対象としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
関係条項 家としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身 障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行す る領収書を添付して行うものとする。 2条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規 定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						2 前項の規定にかかわらず、対象者の責めにより過分
 家としない。 新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例施行規則 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う 		闡	係	条	項	
型 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身 障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行す る領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規 定による支払の条件に係る協定を締結しなければなら ない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う			ΝN	∠ <	- 75	象としない。
基 (支給の申請等) 第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身 障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行す る領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規 定による支払の条件に係る協定を締結しなければなら ない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
第5条 条例第9条第1項に規定する請求は、重度心身障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う	基					, · · ·
障がい者医療費支給申請書により医療機関等の発行する領収書を添付して行うものとする。 2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
2 条例第9条第2項の医療機関等は、市長と同項の規 定による支払の条件に係る協定を締結しなければなら ない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
定による支払の条件に係る協定を締結しなければならない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						る領収書を添付して行うものとする。
ない。 3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
3 条例第9条第2項の規定による医療機関等の請求は、 重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
重度心身障がい者医療費請求書を市長に提出して行う						
*						
	準					ものとする。

		4 市長は、条例第9条第2項の規定による支払に関す
		る事務を社会保険診療報酬支払基金埼玉支部又は埼玉
		県国民健康保険団体連合会に委託することができる。
		この場合において、前2項の規定は、適用しない。
		1 対象となる医療費を例示すると次のとおりである。
		(1) 国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法 律又は社会保険各法による被保険者等が負担すべき
		療養費の支給がある場合は、これを控除した額
		(2) 保険各法に規定する治療材料費等で保険給付が認
	基準	められた費用のうちの自己負担金
		(3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令に規定する更生医療の自己負担
	(未設定の場	金
	合はその理	2 支給の時期
	由)	(1) 重度心身障がい者医療費支給申請書を提出してか
		560日以内 100 京短崎美典ナナル仕加級仕の土級がまて来は、ス
		(2) 高額療養費または付加給付の支給がある者は、そ の支給のあったことを確認してから60日以内
		3 支給の方法
		支給は、原則として受給者からの請求に基づき、対
		象者の口座振込みによって行う。
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	参 考 事 項	
	設定等年月日	平成11年7月1日設定(令和6年7月1日最終変更)
標	標準処理期間	総日数 60日
準	(未設定の場	
処	合はその理	
理	由)	
期間	設定等年月日	平成11年7月1日設定(令和 年 月 日最終変更)